

中国・東南アジア原産の飼い鳥が野生化しています

いずれも関東や九州などで増え、分布が広がっています。

現在は**外来生物法**により、輸入や飼育、野外へ放すことが禁止されています。

ソウシチョウ



美しい色彩が特徴で、似た鳥はいない
全身こげ茶色で、目の周りの白い線が特徴

ガビチョウ



スズメぐらいの大きさ。標高 1200～1500m のササのよく茂った林で繁殖し、ササ原からあまり姿を現さない。ウグイスとコマドリの多い環境には侵入している恐れがある。秋には移動中の群れが県内あちこちに出没。冬は暖地ですごくと思われる。

スズメよりやや大きい。標高 1000m 以下の、やぶの多い林（ヒヨドリ、メジロ、ホオジロのいずれも多いような環境）に一年中すむ。集落の裏山などにもおり、一年中やかましくいろいろな声で鳴くので目立つが、姿はなかなか現さない。

2010 年の調査でわかってきた 長野県内の分布拡大傾向



南アルプス山麓のほか、今後は中央アルプス
および北アルプス山麓地域でも要注意。



今後、長野市・下諏訪町・富士見町
などで要注意。

鳴き声の特徴

繁殖地では、ウグイスの「ケッキョ、ケッキョ」にやや似た、しかし不規則な節回しでさえずる。1回のさえずりは4秒ほどで、「フィッ、ケロッ、フィッ、キョッ、キッ、ホヨケッ、キョヒッ、キョッ、ケッ」などのように聞こえる。「ジョッ、ジョッ」や「ヒーヒーヒー」などの声も出す。

クロツグミに似ているが、1回のさえずりが長く（4～12秒ほど）、大声でやかましい印象。「ウィーフ、ウィーフ、ピューギー、ピューギー、ウェーキーフ、ウェーキーフ、ウェキフ、ウェキフ……」など多彩で他の鳥の声をまねることもある。ふだんの声は「ギッ」や「グエッ」など。

生態系への影響は

目立ちませんが、同じ食物資源（昆虫や木の実など）をめぐって、ウグイス・ヒヨドリ・メジロ・ホオジロ・キビタキ・コマドリ・クロツグミなど、もともと日本にいた野鳥と競争関係になることが考えられます。ソウシチョウはササやぶに過密に巣を作るので、天敵を引きつけ、ウグイスの巣まで天敵に襲われる確率が高くなることも指摘されています。

もしもみつけたら

確実な確認情報がありましたら、環境省 長野自然環境事務所 野生生物課（TEL 026-231-6570 FAX 026-235-1226）までお寄せください。